

4. 今後の指導改善策

【国語】

学習指導要領の領域	指導改善策
話すこと 聞くこと	<p>○適切な話し方の指導を行う。 相手意識をもたせ、目的や条件に応じて話の内容や構成を工夫する言語活動に取り組む。 また、聞き手の反応を確かめながら話し方を調整するなど、音声面の指導を行う。</p> <p>○メモを取る力をつける。 話の要点を箇条書きにするなど、目的に応じてメモを取る習慣を身に付けさせる。 また、そのメモを事後の学習に活用し、話し合う力や書く力に結びつけていく。</p>
書くこと	<p>○条件に応じて書き分ける力をつける。 本文から必要な情報を取り出し、要約する言語活動に取り組むとともに、字数や表現様式などの条件を設定して、目的や条件に即して書き換える指導を行う。 また、賛成か反対かいずれかの立場から客観的な情報を取り入れて意見文を書くなどの指導を行う。</p>
読むこと	<p>○自分の思考や表現を豊かにするために読むことの意識を高める。 登場人物相互の関係を押さえながら、人物の心情を表現や叙述の工夫に関係付けてとらえさせる。 また、複数の情報を取り上げ、観点を設定して比較・評価しながら読む言語活動に取り組む。 さらに、お互いの意見を交流させることで、自分の読みをより確かなものにさせる。</p>
言語事項	<p>○文の構成の指導を充実させる。 主語と述語の照応や、修飾と被修飾の関係、語句の係り方を意識できるように指導する。 また、自分が書いたり話したりする際に、目的や意図に応じた文の構成ができるように指導する。</p>

【算数】

学習指導要領の 領域	指導改善策
数と計算	<p>○分数・小数・整数の関係を理解させる。 数直線上に様々な分数や小数、整数を表わす活動を通して、分数と小数が整数と同じ系列に位置づけられることを理解させるよう指導する。</p> <p>○見通しをもって解決する力をつける。 与えられた条件や問題を解決する過程を式や言葉、図で書く活動を通して、筋道を立てて考えられるような授業を構成する。</p>
量と測定	<p>○平面図形の性質を活用する場面を設定する。 日常的な場面において、平面図形の性質を用いて考察し、問題を解決する活動を取り入れる。</p> <p>○必要な情報を選択する力をつける。 過剰な情報を含んだ場面や事柄を提示して、それらの中から問題解決に必要な情報を選択する活動を取り入れる。</p>
図形	<p>○図形の構成要素を適切に活用できる力をつける。 辺の長さなど、図形の構成要素に着目して図形を構成したり観察したりすることを通して、図形に対する感覚を豊かにする指導を行う。</p>
数量関係	<p>○百分率を適切に活用できる力をつける。 日常生活で百分率が用いられる場面について考える活動を通して、百分率の意味の理解を深める指導を行う。</p> <p>○言葉の式、公式を活用する効果について理解させる。 言葉の式に数値を当てはめて計算する活動を取り入れ、言葉の式や公式が一般的な数量関係を表わしていることを理解させる。 また、式の形から計算結果の大小にかかわる部分をよみとり、計算結果の大小を判断し、根拠を明らかにして説明する活動を充実させる。</p>